

WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

ヨコハマ  
Yokohama Racing  
北関東自動車グループ

アルファプロデュース

NUTEC

JMS

アイシン精機

ETAS

KPC

IDS

ENDLESS

Old Line

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR VIEW MONITOR ÖHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC BILLION

日産商品 TOKOH

WedsSport  
Racing Team  
with BANDOCH

2009 SUPER GT Rd.5 SUGO GT300km RACE



- 開催日: 2009年7月25日～26日
- コース: スポーツランドSUGO(全長3.704km)
- 天候: <予選> 晴 <決勝> 晴 / 雨
- 路面コンディション: <予選>ドライ <決勝>ドライ / ウェット
- チーム: WedsSportRacingTeam with BANDOCH
- 車名: ウェッズスポーツIS350 <GT300 ゼッケン19>
- ドライバー: 織戸 学 / 片岡 龍也
- 監督: 坂東正敬
- 観客動員数: 予選12,000人 / 決勝26,000人

WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

ヨネハチエー  
Yonehachi Energy  
北海道自動車グループ

アルファプロデュース

NUTEC

Jms

AD アイシン開発

ETAS

KEC

IDS  
INTERNATIONAL

ENDLESS

Old Lines

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR VIEW MONITOR OHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC BILLION

WCS 日清食品 TOKOH

1ヶ月ぶりのレースとなる菅生。

昨日の搬入作業は雨の中であったが、土曜日は予報とは違い真夏日の晴天となった。中盤戦に来て、シリーズランキング2位につけているが、この1戦は大事なレースとなる。

7月25日(土)

フリー走行 9:45~11:30(混走)

天気:晴れ / 路面:ドライ 気温29度 / 路温34度

午前中の天候は曇り、スタートドライバーは織戸選手。

今回はハンディウエイト88kgと性能調整25kg、ゆうに100kgを超えた重量はアップダウンのある菅生では辛くなる。

2LAP目に1分27秒961を記録し、暫定トップとなる。しかし、4月の鈴鹿以来の出場となる33号車HANKOOK PORSCHEが、5LAP目にトップタイムを記録し、19号車ウエッズスポーツIS350は2番手となった。その後、細かい調整とタイヤ選択をする為にピット作業を繰り返し、14LAP目に1分26秒599を記録するが7番手となった。

やはり、重量の増加が効いているようだ。

その後も精力的に織戸選手がセッティングを詰めるも25LAP目にGT300クラスの車両が2台コースアウトし、赤旗中断となる。

約10分の赤旗中断後、片岡選手に交代しセッティングを確認変更する。

最後にピットストップの練習を兼ねて織戸選手に交代する。

この時点でのトップタイムは81号車ダイシン アドバン Ferrariで1分25秒824を記録している。47LAP目に1分26秒572を記録するが最終結果は8番手タイムとなった。午後の予選でこのポジションを取れば、スーパーラップ連続進出記録も更新できるが、はたして記録更新は出来るのであろうか。



予選1回目 13:35~14:00(混走) / 14:00~14:10(GT300)

天気: 晴れ / 路面: ドライ 気温30度 / 路温40度

午後の予選はこの季節にぴったりの真夏日となった。

GT500クラスとの混走時間のスタートは片岡選手、3LAP目に1分25秒991を記録し暫定トップとなる。その後、混走中に織戸選手に交代し確認に出るが2LAPでピットイン。この時点で2番手タイムとなっている為、セッティングの小変更をしてGT300クラス占有時間に備える。

混走時間のトップタイムは1分25秒447、11号車JIMGAINER ADVAN F430となる。2番手タイムのままGT300クラス時間になり、織戸選手がアタックする。2LAP目に1分25秒601を記録するが、トップタイムは24秒台をたたき出し、81号車ダイシン アドバン Ferrariとなる。

この時点で19号車ウエッズスポーツIS350は5番手となり、4LAP目に1分25秒173を記録し3番手に浮上するも最終結果は4番手となった。これで新車デビュー戦から連続スーパーラップ進出記録も更新となる。あとは、コース幅の狭い菅生で有利になるようにポールポジションを狙いたい。



スーパーラップ 15:40~

天気: 晴れ / 路面: ドライ 気温29度 / 路温37度

今回のスーパーラップは4番手タイムの為、5番目の走行となる。

アタックドライバーは織戸選手、気合は十分だ。

最初の走るのは66号車ランボルギーニムルシエラゴで1分26秒037を記録し、ターゲットタイムとなる。その後、11号車JIMGAINER ADVAN F430、46号車ARTA Garaiya、2号車アップル・K-one・紫電と24秒台を連発し、トップタイムが塗り替えられてゆく。19号車ウエッズスポーツIS350の出番となり、応援団の声援の中、ピットを出て行く。順調に走行するもやはり、ウェイトが効いてしまい1分25秒363を記録するが暫定4番手となった。その後、43号車ARTA Garaiyaが24秒台、そして開幕戦より速さを見せていたがトラブルで結果が残っていなかった81号車ダイシン アドバン Ferrariが23秒台を記録、最後に久しぶりの参戦33号車HANKOOKPORSCHEがアタックするも23秒台は出せなかった。19号車ウエッズスポーツIS350は結果7番手となり、明日のスタートは4列目となる。

菅生では、雨の絡むレースが多いサーキットとして毎年、波乱のレース展開となる。菅生の魔物はどこのチームに牙を向くのだろうか。



WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

ウエッズスポーツ  
WedsSport  
北関東自動車グループ

アルファプロデュース

NUTEC

Jms

AD アイシン開発

ETAS

KPC

IDS

ENDLESS. Old Line

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR MONITOR OHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC BILLION

WGSN 日産商品 TOKOH

## 監督、ドライバーコメント

坂東監督

予選1回目でまさか25秒1が出るとは思わなかった。やはりウェイトはきつい。43号車をターゲットとして今回、菅生に乗り込んできたが、流石ガライヤ、同じようなウェイトなのに速かった。81号車と33号車はストレートが速いのでレースでは少し厳しい。今回はなんとでも7号車と43号車の前でコールしたい。明日は作戦で何とかします。

織戸選手

スーパーラップでは固めのタイヤを選択し、アタックしましたが路面温度と合わずに少し苦労しました。そのなかでも重量を積んだマシンとしては、良い結果が出せたと思います。決勝では天候も怪しいので、混戦が予想されると思いますが、表彰台を目指してがんばります。

片岡選手

1回目の予選が4番手でした。スーパーラップ連続進出記録更新ですね。今回のアタックは織戸選手でした。路面温度とタイヤのマッチングがいまいちでしたが、決勝では混戦になると思いますので、期待してください。



WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

ヨコハマ  
Yokohama Racing  
北関東自動車グループ

アルファプロデュース

NUTEC

Jms

AD アイシン開発

ETAS

KPC

IDS  
INTERNATIONAL

ENDLESS. Old Lines

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR VIEW MONITOR ÖHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC BILLION

日産商品 TOKOH

7月26日(日)

午前フリー走行 9:45~10:15

天気:晴れ / 路面:ドライ 気温30度 / 路温40度

午前中は真夏日となり、午後の決勝が難しい天候となった。

スタートは片岡選手、3LAP目に1分26秒832を記録し2番手となる。

重いウェイトではあるが、その状況でも良いセッティングが出ているようだった。

7LAP目には1分26秒348を記録するが、この時点で4番手のタイムとなる。

久しぶりの参戦33号車HANKOOK PORSCHEがトップタイム、2番手に11号車

JIMGAINER ADVAN F430がつける。その後、織戸選手に交代し、最終確認として走行する。

最後にピットストップの練習をして午前中のフリー走行は5番手で終了した。



決勝 14:00~(81LAP)

天気:晴れ~雨 / 路面:ドライ~ウェット 気温30度 / 路温42度

スタート前は真夏の日差しのまま、ドライタイヤでのスタートとなる。

スタートドライバーは片岡選手。

あまりの暑さと19号車ウェッズスポーツIS350の重量でスターティンググリッドでは、エアジャッキが路面に食い込むトラブルがあったが、順調にスタートした。

今回のグリッドで19号車ウェッズスポーツIS350の周りはストレートの速い車に囲まれ、苦しい展開が予想された。スタート後、5LAP目にはポジションを1つ落として8番手となる。13LAP目には110号車ボクスターにかわされ10番手まで落ちた。やはり、重量のある19号車ウェッズスポーツIS350はストレートの速い車輛にはついていくのは難しく、

我慢のレースとなっていた。ところが、22LAP目に雨が降り始め、ストレートの速い66号車ムルシエラゴに接近して行く。ハーフウェイトに強いタイヤの特性を活かし、片岡選手が懸命に追い上げる。27LAP目には66号車ムルシエラゴをパスし、9番手へポジションアップ、この時点でのトップは81号車ダイシンF430、2番手には33号車ハンコックポルシェがつける。



WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

Vo.Heart Energy  
北関東自動車グループ

アルファプロデュース

NUTEC

Jms

AD アイシン開発

ETAS

KPC

DOS

ENDLESS

Old Line

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR VIEW MONITOR

ÖHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC

BILION

WGSN 日清食品

TOKOH

30LAP目には各車レインタイヤに交換する為、ピットに入ってくるが、19号車ウェッズスポーツIS350は32LAP目にドライバー交代と共にレインタイヤへ変えた。

レインタイヤでスタートした織戸選手は8番手でレースに復帰する。

この時点で、7番手を走行するのは46号車モーラズ、7秒前を走る。後ろの9番手は43号車ガライヤでポイント争いをしているチームが1秒以内で後方に着くが、35LAP目には6番手まで浮上、ウェイトは軽く、好調な33号車ハンコックポルシェに抜かれ7番手にポジションを落とすが、前後の間隔も変わらず、しばらくは7番手をキープする走行となるが、雨が弱くなり始め、ドライのラインが出来始めてきた。55LAP目には織戸選手の判断で、早めのスリックタイヤを準備し、ポジションアップを狙う。ピットストップで13番手まで順位は下がったが、スリックタイヤの投入がベストタイミングで行えた為、各車がスリックに変えるときにはポジションアップし、64LAP目には8番手まで順位を上げていた。

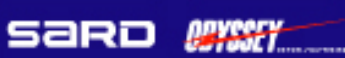
残り周回数が10LAPぐらいになると、レインタイヤのまま走行しているマシンは徐々にタイムが落ちてくる。70LAP目には7番手まで浮上、73LAP目には6番手となる。

74LAP目には前を行く26号車タイサンポルシェに接触されながらも5番手まで浮上、ファイナルラップを5番手で走行し、フィニッシュラインを通過した。

これで、19号車ウェッズスポーツIS350はドライバーズポイントで6ポイントを獲得し、ポイントランキングトップに躍り出た。残り4戦、重量は100kg超えての戦いになるが、確実にポイントを取り、チャンピオンを獲得する。



アルファプロデュース



WedsSport

LEXUS

Racing Development  
TRD

ADVAN  
YOKOHAMA

ヨコハマ  
Yo-Ho Race  
北関東自動車グループ

アルファプロデュース

NUTECH

Jms

アイシン開発

ETAS

KTC

IOS

ENDLESS

Old Line

KTEL BRIDE

KYB GruppeM

REAR MONITOR OHLINS

SARD ODYSSEY

TAKATA APP

ARC BILLION

日産商品 TOKOH

## 決勝後のコメント

### 織戸選手

今回の菅生はターニングポイント。ここでポイントを稼ぎ、ランクトップで終わることが目標だった。車はセパンから、かなり決まっていた、タイヤもかなりIS向きのタイヤが育ってきた。予選もなんとかスーパーラップに残り、最終的には順位は下げたが、まあまあポジションからスタート。スタートは片岡。やはり満タンでは厳しい様子。しかし、雨の中のスリックはさすが、片岡。その後、僕に交替し、ウエットタイヤで。新しいウエットは今回の路面コンディションには合わなかった感じで、タイムが上がらない。なんとか「雨よ、止んでくれ」と思っていた矢先に、空が明るくなってきた。1番早く、スリックに交換し、1番好きな、ウエットスリック状態。その後は1周1周ハードプッシュした。5位という結果は、満足だが、今後もこんな苦しいレースが続くだろう。車以上にもっともっとレース内容を重視し、作戦をたてていきたい。どうしてもチャンピオンが欲しいからね。



### 片岡選手

決勝は7番手からスタートしましたが、決勝でのガソリンをフルに積んだ状態は、とても厳しく苦しい展開になりました。しかし、雨がポツリと落ち始めたところから本来のマシンの性能が発揮され、前との差を縮めることが出来ました。織戸さんに変わり、ウエットでのバランスはもう一歩な感じでしたがスリックへの交換の判断が素晴らしく5位でゴールしポイントランキングもトップになることが出来ました。次のレースもウエットが厳しく、難しいレースになることが予想できますがここまでの戦いから苦しい中でも最善を尽くせるチームだと思っているので次のレースも頑張りますので応援お願いします。

### 坂東監督

今回の5位はドライバーが勝負した結果です。とても満足です。本来ならガライヤと同じタイミングでピットインする予定でしたが、片岡選手がトップとの差を詰めていたので1周遅らせました。ミスも多少あったレースでしたが、シリーズポイントリーダーで鈴鹿に向えることは出来たので満足しています。残り4戦、必ずシリーズチャンピオンを取りに行きますので、応援よろしくお願い致します。

アルファプロデュース

## 予選結果

1	81	ダイシン アドバン Ferrari	1' 23.435
2	33	HANKOOK PORSCHE	1' 24.150
3	43	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	1' 24.391
7	19	ウェッズスポーツIS350	1' 25.363

## 決勝結果

1	33	HANKOOK PORSCHE	1:59' 53.260
2	2	アップル・K-one・紫電	0' 02.299
3	11	JIMGAINER ADVAN F430	0' 29.943
5	19	ウェッズスポーツIS350	0' 58.886

## チームランキング

1	19	RACING PROJECT BANDO	65
2	7	M7 RE雨宮レーシング	63
3	2	Cars Tokai Dream28	59
4	43	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	59

## ドライバーランキング

1	19	織戸 学 / 片岡 龍也	50
2	7	谷口 信輝 / 折目 遼	48
3	2	加藤 寛規	46
4	43	新田 守男 / 高木 真一	44